

校友会報

中央学院校友会本部

〒136-0071 江東区亀戸 7-65-12

中央学院大学中央高等学校

TEL (5836) 7 0 2 0

毎年1回発行

誠實に謙虚をまよ

渠か心に人に接し

奉仕と感謝の心を忘れず

常身を慎み反省を

研鑽を怠れるな

創業者 博士 高橋徳郎先生 遺徳を
建学の精神 中央学院大学
1947年



中央高校
校長
土田 忠

校友会の皆様には、日頃より御支援御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

さて、平川憲一前校長から引き継いで校長就任から三年目を迎える間もなく一つの区切りの時期となります。

この間中央学院大学中央高等学校の校長として、歴代の校長先生が築かれた伝統を受け継ぐとともに、新たな学校作りに努力してまいりました。近年の教育界は時代の変化に伴って大きく変わるうとしております。「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力の育成等が重要視され、グローバル化・キャリア教育・ICT等と言う言葉が頻繁に出てくることは皆様もよくご存じだと思えます。本校では早くか

らハワイでの修学旅行を実施して広く海外に目を向けたグローバルな人間教育を行ってまいりました。また、キャリア教育においては、入学時より卒業後の進路及び将来を見据えた自立に向けた能力の育成に努めています。ICTは本校の原点である商業教育を柱に今後ますます重要となってくるものと考えております。

このような状況から、さらに現状にとどまる事のないよう、より一層充実した進化した教育を行うことが重要だと考えております。その為、校長就任以来今日まで教職員と協力し「過去の慣行・慣例にとらわれず、発想を転換した取り組み」を行うよう努めてまいりました。その一つとして、本年度中の校内無線LANの整備とICT教育の導入です。二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックに向けグローバル化に対応した教育環境づくりと人材育成が重要視されています。そのような観点から本校では校内無線LANを導入して環境を整備してい

くことといたしました。その後、タブレット等の導入を検討してICT教育を推進すべく準備を進めていく予定です。また、新たな取り組みと改革を行うべく過去の状況を検証分析して第二、第三の改革を進めていく次第です。

このような取り組みには、教職員の協力と、校友の皆様のご支援が必要となつてまいります。前回の寄付に際しては多大なるご協力をいただき無事、新校舎ならびに環境整備が整いました。そしてこの度、新たに学校法人中央学院として平成三十一年八月まで、大学・高等学校における教育研究環境の整備ならびに学生・生徒への各種支援事業に対する財政的支援を得るため、広く寄付金を募集することとなりました。

付きましては、校友の皆様におかれましては母校中央高校に関心をお寄せいただき、ご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成26年 合同新春懇親会

平成27年1月30日(金) 恒例の四者合同新春懇親会がJR錦糸町駅近くにある東武ホテルで開催されました。

昨年(26年)の12月に、熊沢会長の計報が知らされ、多少盛り上がり欠ける雰囲気もありましたが、多くの方が元気に参列して、過年度のご無沙汰と新年の挨拶を交わしていました。

親睦会は、学校法人理事長・吉野賢治氏の来賓祝辞に始まり、校友会々長代理の沢田副会長、PTA会長、PTA永代会々長の挨拶に続き、土田校長の学校近況の報告の後、参列した先生方一人ひとりの紹介とレスリング同好会選手の活躍ぶりや成績報告を受けました。その後、佐藤副会長の乾杯首頭を契機に親睦会に移りました。



PTA OB 会長



中央高校 長



新年を迎え、4者合同の懇親会の花が咲きました



法人理事長



校友会会長代理



PTA 会長

校友会理事会
寺嶋昭雄新会長就任

2月20日(金)に理事会が開催されました。熊澤幸蔵会長の死去に伴う役員改選の議案が急きよ審議され、寺嶋昭雄氏が新会長に就任しました。

その後、寺嶋議長のもとで審議に入りました。土田校長より、評議員として第90期の卒業生・設楽はるき氏の推薦があ

り、6月の総会に提案することが決定しました。

また、報告事項として27年度の活動方針が会長より発言がありました。

○4月・決算、予算。

役員改選として、副会長が定数に対して3名不足。推薦してほしい。

○6月・評議委員会、決算・予算の承認、役員承認。

○9月・10月・理事会、親睦会。

○12月・納会。

その他

梅津常任理事より、秋の親睦理事会を4月4日(土)に、「墨堤散策と割烹料亭美家古」を開催したい旨の提案があり、参加人数の不足等の質問がありました。が、提案通り決定しました。

校友会理事会(親睦)

「墨堤お花見コース」

4月4日(土) 吾妻橋観光案内所に集合した後、墨堤お花見のコースは、勝海舟像・枕橋・竹屋の渡し跡・桜橋(芸妓茶屋)・長命寺・弘福寺・割烹料亭(美家古)までの1時間30分でした。

折よく、桜は満開で、どこもかしこも花見を楽しむ人で墨堤は満杯、一休の屋台も親子連れや若いカップルで大入り満員、呼び込みの店員にも力が入りました。一方、隅田川の中を覗くと、花見の船で埋まり、整理をする水上警察のマイクの声が枯れるほどでした。

天候は久しぶりに快晴。観光協会の案内嬢の説明もよく通って、参加者全員が満足した様子でした。



校友会理事会
評議員会開催に向けて

6月の評議員会の開催に向けて、4月24日、亀戸校で2回目の理事会が開かれました。

初めに、土田校長が学校報告があり、今年度の入学生は121名となったが、人数から押して学校運営が厳しい状況になっている旨の発言がありました。

寺嶋議長の下で審議に入り、それぞれの担当理事から会務報告・平成26年度決算報告・同監査報告に続いて、27年度事業計画・予算案報告が行われ、賛成多数で承認が得られました。▼続いて、会則の一部変更が提案され、審議の末原案が承認されました。

また、今後の課題として、年会費の廃止の提案が出されました。▼若い会員の負担を軽減し、校友会等の開催を促し、結果として校友会活動を活性化することと、校友会の発展が望めるという趣旨でした。▼対して、会費を負担することが校友会会員の自覚を促すものであり、むしろ会員拡大に目を向ける必要がある。▼大きく二つの意見に集約され、今後の検討に委ねることになりました。

平成27年度
定時評議員会
及び校友会懇親会

平成27年6月26日(金)、第一ホテル両国において、定時評議員会(総会)

及び懇親会が開催されました。気象予報が全国的に大荒れ模様を伝える中、55人の評議員が出席しました。総会は、寺嶋議長の下で前年度会務報告、中島会計理事による決算報告及び進藤監事による監査報告、そして佐藤副会長による本年度の事業計画並びに中島会計理事による予算案が審議され、出席者からの質疑応答を経て全会一致で原案が可決されました。



評議員会では、会員の熱心な審議が行われました



寺嶋昭雄 新会長の挨拶

その後、参加者は懇親会の席に移り、親しく意見交換をしました。



和やかな中で進行了ました



先生方も、顔を出して頂きました

平成27年度 事業計画
定時評議員会において、平成27年度の事業計画・会務報告・決算・予算・監査報告並びに校友会役員等が決定されました。

- 一、評議員の活性化をはかる
- 二、会費の増収につとめる
- 三、会報の年一回発行を実行する
- 四、在校生、学校との連絡を強化する
- 五、中央学院学友会校友会連合協議会と連絡を密にする
- 六、委員会活動を活性化させる

平成27年度
校友会役員名簿

役職	氏名	卒期
会長	寺嶋昭雄	55
副会長	佐藤昌信	55
専務理事	白石勝弘	60
常任理事	石田昌幸	61
常任理事	三谷正夫	61
常任理事	秋山忠幸	62
常任理事	中川重徳	65
常任理事	梅津修	65
常任理事	谷本弘	59
常任理事	中島伸一	66
常任理事	平川高幸	62
常任理事	石田高幸	61
常任理事	白藤昌弘	60
常任理事	白藤昌弘	60
常任理事	石田昌幸	61
常任理事	樋口やい子	61
常任理事	高島有美子	62
常任理事	大橋治久	78
常任理事	時孝行	79
常任理事	金子由信	62
常任理事	中野一	65
常任理事	青木康則	73
常任理事	藤木晃徳	79
常任理事	藤掛辰徳	84
常任理事	柳辰徳	96
監事	村幸夫	42
監事	進藤彦	54
監事	山崎正明	50
監事	吉野賢治	51
監事	佐藤賢治	51
監事	澤田和昭	51
監事	小川勇	42

会務報告

*平成26年

4月5日 学院大入学式
 4月9日 中央高校入学式
 4月10日 中央学院高校入学式
 4月16日 決算監査
 4月16日 校友会理事会
 4月26日 校友会校友会
 連合協議会総会・親睦会
 正副会長会議

6月1日 学友会校友会連合協議会
 6月2日 箱根宮ノ下
 『富士屋ホテル』

6月6日 定時評議員会(総会)
 10月23日 校友会理事会(親睦会)
 10月5日 中央祭
 11月16日 新校舎竣工式
 12月10日 校友会理事会納会

*平成27年

1月2日 箱根駅伝(往路)
 1月3日 箱根駅伝(復路)
 1月3日 駅伝慰労会
 1月30日 四者合同新春懇親会
 2月20日 校友会理事会
 3月7日 中央高校卒業式
 3月7日 謝恩会
 3月8日 中央学院高卒業式
 3月20日 学院大学位記授与式

平成26年度 収 支 決 算 書

自平成26年 4月 1日
 至平成27年 3月31日

(単位:円)

収入の部	決算	予算	差異	支出の部	決算	予算	差異
会 費 収 入	2,826,000	2,900,000	△74,000	評 議 員 会 費	210,000	300,000	△90,000
				会 報 等 印 刷 通 信 費	795,631	1,500,000	△704,369
寄 付 金 収 入	22,000	10,000	12,000	同 期 会 補 助	20,000	50,000	△30,000
				同 好 会 補 助	20,000	40,000	△20,000
				事 務 費	100,000	100,000	0
雑 収 入	253	0	253	慶 弔 費	47,280	50,000	△2,720
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	250,000	250,000	0
				中央学院連合協議会々費	100,000	100,000	0
				新 入 生 卒 業 生 記 念 品	98,280	500,000	△401,720
				雑 費	15,961	50,000	△34,039
				予 備 費 他	0	50,000	△50,000
経常収入計	2,848,253	2,910,000	△61,747	経常支出計	1,657,152	2,990,000	△1,332,848
基本財産運用収入	25,996	26,000	△4	基本財産組入支出	1,000,000	1,000,000	0
前年度繰越金	1,821,018	1,821,018	0	次年度繰越金	2,038,115	767,018	1,271,097
計	4,695,267	4,757,018	△61,751	計	4,695,267	4,757,018	△61,751

※他に基本財産 10,320,000円(5年千葉県債 932万円 (0.35%) 5年大阪府公募債100万円 (0.173%))

平成27年度 収 支 予 算 書

自平成27年 4月 1日
 至平成28年 3月31日

(単位:円)

収入の部	予算	前年度予算	差異	支出の部	予算	前年度予算	差異
前 年 度 繰 越 金	2,038,115	1,821,018	217,097	評 議 員 会 費	300,000	300,000	0
会 費 収 入	2,800,000	2,900,000	△100,000	会 報 等 印 刷 通 信 費	1,000,000	1,500,000	△500,000
寄 付 金 収 入	10,000	10,000	0	同 期 会 補 助	50,000	50,000	0
雑 収 入	0	0	0	同 好 会 補 助	40,000	40,000	0
基本財産運用収入	27,000	26,000	1,000	事 務 費	100,000	100,000	0
				慶 弔 費	50,000	50,000	0
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	250,000	250,000	0
				中央学院連合協議会々費	100,000	100,000	0
				新 入 生 ・ 卒 業 生 記 念 品	500,000	500,000	0
				雑 費	50,000	50,000	0
				予 備 費	200,000	50,000	150,000
				基本財産組入支出	1,000,000	1,000,000	0
計	4,875,115	4,757,018	118,097	次年度繰越金	1,235,115	767,018	468,097
				計	4,875,115	4,757,018	118,097

※同期会補助---同期会(クラス会でないもの)の補助年間1回 10,000円。

※同好会補助---同好会(10名以上の団体)の補助年間 20,000円。

※スポーツ奨励金---中央高校のスポーツ充実・発展を図る為生徒・運動部に対して奨励金を支給する。

中央祭

生徒実行委員長 高橋 真里亜

今年で22回目を迎えた中央祭は、10月11日(日)に行われ、新校舎になってから初めて大規模な装飾・展示を行いました。

その大規模な装飾の一つ目は、校門から入ってすぐ右手のところに大きな「中央祭」という看板を置いたことと、校舎入口付近に各クラスの催し物や模擬店の紹介を描いたポスターを掲示したことです。二つ目は、高さ約5メートルもの七福神の巨大なちぎり絵を展示したことです。看板制作もちぎり絵の制作も実行委員が夏休みから一生懸命になって取り組んだもので、当日はご来場いただいた多くの皆さまにご覧いただけたのではないかと思います。

また、今年は《スマイル》のスロ―ガンをもとに、「大変な事にも全力で立ち向かい頑張ることで、最後は笑顔で楽しく中央祭を終わることができるよう」を目標として頑張りました。

校舎内での各クラスやクラブの模擬店や催し物の発表、体育館でのクラブや有志団体のダンス発表とも大いに盛り上がりました。そして、PTA主催による毎年恒例のバザーと今年初めて開いたカフェや、江東ボランティアセンターの方々による福祉体験コーナーなど、多くの皆さまにご協力をいただきました。

中央祭当日は校友会の皆さまを始めとして、たくさんの方々の保護者の方々、多くの一般の方々にご来場いただきました。そして、本当にありがとうございました。そして、中央祭実施にあたり、ご協力いただいたすべての皆さまに感謝いたします。

最後になりますが、緊張にはとても弱い私、委員長ですが、ここまで実行委員会の仲間と一緒に頑張ってきたことができて良かったと感じ、無事に中央祭を成功させることができましたことを本当に嬉しく思っています。頼りない委員長だったかもしれませんが、私に文句を言わずについてきてくれた実行委員の皆さんありがとうございました。実行委員の皆さんの支えや協力があったからこそ、この中央祭を成功させることができたのだと思います。そして、ここまで陰ながら応援して下さいました先生方にも心から感謝しています。





中央学院大学
中央高等学校



専任講師
常味 光

今年度から英語科の専任講師として勤務しており、現在は1学年付を、部活動ではバドミントン部を担当しております。

中学生の頃に英語の学習法を身につけさせてくれた恩師に出会ったお陰で英語好きになり、高校では英語に対する理解を深めさせてくれた恩師に出会って、英語に対する興味を高めることができました。大学では英米文学を専修し、中学高校では身に付けることができなかつた発音や、コミュニケーション力を高める努力をして参りました。また、その4年間で学習塾の講師の経験を積みました。その中で、生徒と関わることの難しさや、授業の創意工夫の楽しさを経験し、教員の中でも進路選択に関わることのできる高校の英語教員になりたい

と思うようになりました。

4月に学校が始まってから、今日に至るまであっという間に時間が過ぎていくように感じています。それは教員という仕事に夢中になれている証拠であり、また多くの先生方や生徒に囲まれて充実した日々を過ごすことができているからだと思っています。

今後の目標として、生徒に「英語が苦手」と言わせない指導をして参りたいと考えています。私の経験上、英語は能力の科目ではなく、努力の科目だと確信しています。語彙力を高めたり、発音を覚えたりと地道な努力を飽きさせないよう、創意工夫のある授業で、楽しく習得させていけるよう尽力して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

★ 一学年研修旅行について

1年A組 桐澤涼花

私はこの研修旅行が不安で仕方ありませんでした。なぜかというところ、入学して四日後に出発だったからです。

みんなと仲良くできるだろうか、話せるかなど、様々な思いがたくさんありました。しかし、その不安はすぐに消え、とても良い思い出を多く作ることができました。この三日間はどれも楽しく、嬉しいことばかりでした。

その中で印象深いことは、二つあります。一つ目は、休憩時間などでみんなと色々な話をして、笑い合ったことです。出会ったばかりなのにあんなに楽しめるとは思いませんでした。

二つ目は、校歌発表で一位になれたこと



とです。あの時、クラスが団結した！と感じました。これからも元氣よく大きな声で歌っていきたいです。そして、何より学校のルールを学ぶことができました。まだ慣れないことも多いですが、友達と助け合い、先生方のお話をよく聞き、頑張っていこうと思います。三日間の研修旅行で学んだことを忘れずに高校生活をより充実したものにていききたいです。



★ ハワイ修学旅行

2年C組 橋本七夢

6月6日(土)～11日(木)の六日間私たちは修学旅行でハワイ・オアフ島に行ってきました。始めの2泊は、ホームステイをしました。私は英語が苦手ですが、話すことができなかったので、行くまではとても不安でした。私たちがお世話になったホストファミリーはお父さん、お母さん、2人の小学生の4人家族でした。気さくでとても明るいお母さんに助けられ、身振り手振りを交えながら単語を並べて何とか伝えることができました。夕食はお母さんの友達の家も加わり大勢でピザパーティーをしました、翌

日は、ワイキキを一望できるとも景色の良い高台に連れて行ってもらいました。帰りにはビーチやショッピングセンターに立ち寄り、とても充実した時間を過ごすことができました。ホームステイの時間はあつという間に過ぎ去り、最後はお母さんとハグしてお別れしましたが、とても寂しく、またハワイに来て会いたいと思いました。

3日目は、クアロア牧場とポリネシア文化センターに行きました。クアロア牧場で、私は映画村のバスツアーに参加しました。そこで映画「ジュラシックパーク」や「ゴジラ」の撮影現場やパネル写真を見学しました。また船でのカネオへ湾クルーズではウミガメを見ることができとても感動しました。ポリネシア文化センターではハワイやトンガ、サモアなど七つのポリネシアの国の文化を学びました。トンガの太鼓ショーやサモアの火起こしショーの見学や体験をしました。

4日目の自主研修では、ワイキキビーチとアラモアナショッピングセンターに行きました。私はこの旅行の前に修学旅行係として新聞をつくりました。私が担当したのは、自主研修のページでした。インターネットやガイドブックでホノルル市内のおすすめスポットを調べておいたので、とても有意義に過ごすことができました。

最終日はホテルで解団式の後、戦艦ミズーリを見学しました。解団式で私は、生徒代表として今回の旅行でお世話になった方々にお礼の言葉を言いま

した。人生で初めての大会でとても緊張しましたが無事に話すことができました。

修学旅行の六日間で自分が少し成長することができたと思います。苦手な英語も、これからもっと勉強してまたハワイに行きたいと思います。



☆ 体育祭

体育祭実行委員長 五代 守

今年度の体育祭は、内容も結果も、今までになく活気にあふれた素晴らしいものでした。

まず、新しい種目が増え、内容が充実しました。新競技として、全クラス対抗の長縄が追加されました。跳んだ回数を競うというシンプルなルールながら、朝や昼休みに練習するクラスも多く、初めて行う競技とは思えないほどの盛り上がり

りを見せました。



そして、今年度は、体育祭までの流れに変更があり、その都度会議を重ね話し合って解決しました。自分たちで考えたことが実現していくことは、やりがいがあり、実行委員の生徒も皆とても生き生きとしていました。それぞれの立場や役割を把握して動くということは、体育祭だけでなく今後の人生にも役立つと思います。体育祭を通じて、勝負の結果だけではない大切なことを、学ぶきっかけになりました。

最終的に、3年A組と3年D組の2クラス同点優勝という、中央高校の体育祭史上前例のない結果になりました。さらに、他学年も入賞する接戦になり、最後まで展開が読めない戦いに、結果発表の時には、生徒・先生方・来賓の方々・浜町の会場が一体になり、非常に良い雰囲気でした。

体育祭を開催するにあたり、お力添えをしてくださった方々に感謝し、来年度以降も、より良い体育祭になることを願っています。ありがとうございました。

☆ 球技大会

3年C組 堀内朝成

6月16日に、中央区立総合スポーツセンターで球技大会が行われました。私は実行委員長として、企画・準備・運営に携わり、そのなかで、クラスの皆と協力し、良い球技大会を創り上げることが大切だと感じました。

今年度は、バスケットボール・バレーボール・ソフトボールの3種目が行われました。



途中雲行きが怪しく雨が降るのではないかと心配されましたが、日頃の行いが良く雨が降ることはありませんでした。私は体育館担当でしたが、例年になく白熱した試合が展開され大いに盛り上がりました。実行委員長として委員をまとめることは大変でしたが、全校生徒が楽しむことができ良かったと思います。

球技大会では優勝することも大切ですが、クラスの仲間とともにスポーツを通して関係を築き、絆を深めることも重要だと思います。来年以降も、今年を超える、一生の思い出になる球技大会にしたいと思っています。



剣道部
高校卒業後も続けられるよう基本を重視した練習をしています。練習は火・木・水です。

☆ 部活の紹介 (学校紹介より)



☆ 「中央学院高校の近況」

教頭 横田 一弘

中央学院高校

平成27年度は新入生345名を迎え、総数1,116名でスタートしました。教職員は生徒と共に本校の特色を最大限に活かす学校作り日々努力を重ねています。5月より武道館の改築工事も始まり、来年の3月には新武道館が完成予定です。

平成26年度の進路状況は、8年連続の国公立大学複数合格(茨城大学2・ほこだて未来大学1)、中央学院大学への進学者数は53名(合格実数66)、その他大学(主な合格校:青山学院大学・國學院大学・駒澤大学・明治大学・明治学

簿記部



実社会でいかせるように検定試験の上級合格を目指しています

院大学・日本大学・東海大学等)への進学者数は189名、短期大学(主な合格校:青山学院女子短期大学・大妻女子大学短期大学部・目白大学短期大学等)への進学者数は17名となり大学短大への進学率は75.1%を達成しました。生徒達は明確な目的意識をより確かなものにしていくために学習や部活動に真剣に取り組んでいます。

また、本校で取り組んでいる検定資格取得は、昨年度から引き続き9種10検定を実施しています。平成26年度は総受検者数941名、2級以上の合格者は66名と過去最高の結果でした。さらに「食の検定」において本校3年生女子が高校生では全国初となる1級に合格しました。

2学期に入り、学院祭や体育祭(来場者数2,000名以上)など学校行事を通して生徒一人ひとりがお互いに相手を認め合い、尊重し合い、微笑ましい雰囲気校内に満ちています。本校は創立50年に向かっていきます。この50周年はゴールではなく遠くを見据え、確実に歩みを進めていく未来へとつながっていると実感しています。

最後に平成27年度の主な部活動の結果を報告します。

- ・バドミントン部: 全国総合体育大会に出場(京都府長岡京市)
- ・男子ダブルス(川村栄貴・加藤匠組)
- ・男子シングルス(菅原彩人)
- ・チアリーディング部: ジャパンカップ 2015

チアリーディング日本選手権大会に出場

- ・野球部: 第97回全国高等学校野球選手権千葉大会準決勝進出 ベスト4
- ・書道部: 第64回千葉県小中高校席書大

会 千葉県知事賞（グランプリ）受
賞市川明香里（2年）



全国高等学校野球選手権 千葉大会で準決勝進出



全国初となる1級合格



席書大会 千葉県知事賞



チアリーディング 日本選手権大会に出場

中央学院大学

☆バレーボール部男子が秋季リーグ全勝優勝しました。

9月5日（土）から1ヶ月半に渡り開催された平成27年度「秋季関東大学バレーボールリーグ戦（男子2部）」において、本学バレーボール部男子が全勝優勝を果たしました。全勝（11勝0敗）での優勝は本学初めての快挙となります。

また、個人賞を本学4名の選手が受賞しました。

優秀選手賞…加賀山諄人（商4年）
スパイク賞…石田 将太（法4年）
サーブ賞…佐藤 望実（法3年）
レシーブ賞…牛田 伊織（商4年）

☆バレーボール部女子2部リーグ5位と大健闘で、全日本インカレ出場権を獲得しました。



全国優勝したバレーボール男子【関東1部リーグ昇格】

平成27年度「秋季関東大学女子2部リーグ戦」は10月18日（日）に全日程を終了しました。

2部リーグへ昇格したばかりにも関わらず善戦し、10チーム中5位という成績を収めました。
個人賞を、キャプテンのコウミンダ選手がベストスコアラワー賞・レシーブ賞を同時受賞しました。

☆千葉県大学サッカーリーグ1部優勝が決定しました。

10月18（日）に行われた千葉県大学サッカーリーグ1部（秋期）の第6節にて、サッカー部が城西国際大学に1-0で勝利しました。これにより、最終戦を残して千葉県リーグ優勝、そして関東大

学リーグ参入戦への出場が決定しました。

千葉県リーグ優勝は3年ぶりとなりますが、本年度は秋季リーグ6戦全勝、また春期・秋期を通しても敗戦なしという好成績をおさめています。

☆第70回国民体育大会「2015紀の国わかやま国体」へ、ゴルフ部の12名の選手が都道府県の代表として出場しました。

競技は9月28日（月）・29日（火）に行われ、ゴルフ部選手も所属する茨城県代表チームが男女揃っての優勝となりました。男子は2年連続4度目、女子は初優勝しました。

【出場選手】

松下龍之介（商3年） 杉山知靖（法4年）
宮川 将（法2年） 平石健太（法2年）
金田直之（法2年） 新長隆弘（法4年）
鶴見大樹（法4年） 園部潤（法2年）
西村 涼（1年）
金澤志奈（商2年） 丹野寧々（商2年）
永田萌夏（商1年）

◎行政研究会が「印旛沼流域環境体験フェア」に参加しました。

行政研究会が10月24日（土）・25日（日）に開催された「第13回印旛沼流域環境・体験フェア」に出展し、研究成果の発表・展示を行いました。

このイベントは、印旛沼流域の水質浄化を啓発し、健全な水循環の再生のための取り組みを実践する契機とすることを目的に開催されました。理系の大学からの参加が多い中、本学の行政研究会のメンバー5名は、利根川流域で導入されている「環境税」について比較研究を行い、その結果を提言としてまとめ、2日間関わって会場でアピールしました。



◎我孫子市国際交流協会「国際交流スピーチ大会」が開催されました。

平成27年9月27日(日)我孫子市民プラザの多目的ホールにおいて、我孫子市国際交流協会及び我孫子市主催の「第17回国際交流スピーチ大会」が開催されました。

今年、我孫子市制45周年・戦後70周年・平和都市宣言30周年を記念した大会となり、中学生から社会人、そして日本人、外国人と幅広い出場者が、平和や国際交流・異文化交流などについて自分の考えを発表しました。来場者や審査員を含め平和について考える貴重な時間となりました。本学の留学生が3名出場し、その中でカン・イテイさんの「**平和とは幸せパズルを作り上げることだ!**」が最優秀賞である我孫子市国際交流協会会長賞を受賞しました。

校友会々員のうき

卒業生90期〜99期・同窓会

90期 園部 佐麻里

平成27年5月29日に校友会主催で三十代の同窓会が開催され、総勢110名の卒業生、15名の先生方が参加下さいました。



校友会会長寺島様・土田校長先生の挨拶で始まり、先生方の自己紹介、それぞれの期ごとの写真撮影が行われ、和やかな歓談が繰り広げられました。

私たち90期が卒業してから21年。学校の場所、名称すべてが変わり、なんとなく母校という気持ちも薄れてしまいましたが、懐かしい恩師と再会したことで20年の月日を取り戻されたひと時でした。

卒業以来の面々もあり、一目では顔と名前が一致しない方もおりました(笑)。それでも先生方は全員お変わりなく、元気な姿を拝見して嬉しく思いました。

それぞれの期ごとにテーブルを囲み、近況報告に始まり、話は遡ること高校時代へ。共通の思い出を抱え、恥ずかしさや嬉しさで何やら複雑な気持ちとなり懐かしく皆さんの顔を眺めました。あっという間の2時間半、楽しい時間を過ごしました。



次回四年後に再会できることを心から楽しみにしています。また、今回都合により参加できなかった方も、次の機会にはより多くの方に参加していただきたいと思えます。そして、我が母校の発展のためにもこのような会を重ねて、中央学院大学中央高等学校を盛り上げてい

きましよう。

最後に、この会の開催にあたりご協力頂きました校友会・先生・後輩の皆さまに心より感謝申し上げます。



箱根駅伝の取り組み 今後の予定

中央学院大学
駅伝コーチ 尾上 岳史

『箱根駅伝』

「校友会」の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素から私ども駅伝部に「ご支援、ご声援をいただき、厚く御礼申し上げます。」

前回の箱根駅伝では、往路は5強の一角と言われた早稲田大学を5区山登りで見事に抜き去り、過去最高順位に迫る往路5位でゴールし、皆様のご声援にお応えする走りが出来ました。

しかし、復路は一転、順位を少しずつ下げてしまい、なんとかシード権内の総合8位に留まることが出来たものの、上位争いできる選手を10名揃えることの難しさを改めて感じさせられました。

今年度はチーム全体の底上げとレベルアップを課題として取り組み、前期最大のチーム戦となる、6月の全日本大学駅伝の関東地区予選では本学初のトップ通過を果たし、チームの勢いとともに課題克服が順調に進んでいると感じました。そして、秋の大学三大駅伝開幕戦となる10月の『出雲駅伝』では、1区で13位と出遅れたものの2区潰滝選手(4年)の区間賞・区間新記録の走りと、後に続く選手も安定した走りをし、7位入賞することが出来ました。

次に、大学三大駅伝2戦目となる11月の『全日本大学駅伝』では、エース潰滝

選手を1区に配置するも思うような走りが出来ず12位と出遅れてしまい、それでも4区塩谷選手(4年)の快走で一時はシード権内の6位まで順位を押し上げるものの、最終的には後一步及ばず総合9位で、目標としていたシード権(6位以内)を獲得することが出来ませんでした。

この2大会を終え、1つの駅伝で走る選手全員が力を発揮することの難しさを改めて感じ、『箱根駅伝』ではより緻密にミスなく大会を迎えなければならぬと感じました。

また、駅伝での基本ではありますが1秒1メートルを大切に、「迷ったら前へ」という攻めの気持ちと、闘志溢れる走りが必要だと感じました。

『箱根駅伝』まで残り2ヶ月を切り、出来ることは限られていますが、上位進出のために、考え得るすべてのことを行動に移して結果に結びつけたいと思います。

今後は、箱根駅伝のメンバー選考の一つとなる大会として、11月15日(日)の上尾ハーフマラソンと、11月21日(土)の10000m記録挑戦競技会があります。その結果を踏まえて、12月10日(木)の箱根駅伝選手エントリーでは、上位で戦うための16名の選手を選べるようにしたいと思います。

末筆にはなりましたが、校友会の皆様方の益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。お正月の『箱根駅伝』では、部員一丸となって挑みますので、ご声援の程、宜しくお願い申し上げます。

(第91回箱根駅伝スタート)



来年の合同新春懇親会

卒業生が学校行事に参加できる機会です。日頃、付き合いのある同窓生をお誘いして、気軽にお申し込み下さい。

記

日時・平成28年1月29日(金)

18時受付

18時30分開会

会場・フラムドール 2F

墨田区吾妻橋1の23の1

03・5608・5381

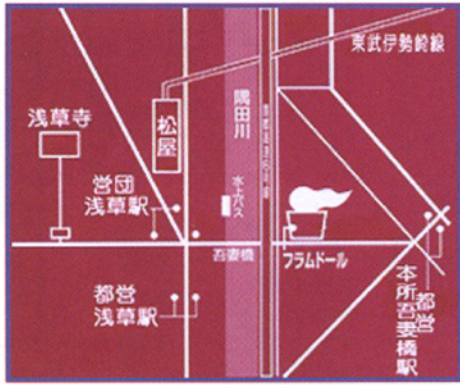
会費・5千500円

申込・FAX 03・5836・7025

に氏名・住所・卒業期・連絡先を記入下さい。

* 当日キャンセルの場合は会費を申し受けます。

交通案内



「校友会費の説明並びに納入のお願い」

校友会費については、昭和五十八年十月二十日で会則が改定され、現在は次のようになっております。

年会費 三、〇〇〇円

特別会費 二〇、〇〇〇円

昭和五十年十月の改定で終身会費二〇、〇〇〇円を決定いたしました。以降これを特別会費とさせていただきます。勿論過去において終身会費として二万円を納入して下さった方は、そのまま終身会員の取扱いをさせていただきますのは当然であります。諸事高騰の折柄お願ひとして年会費も御払込願ひすれば幸いです。今後は年会費で通常経費をまかない、特別会費分は基金として積立て、将来学校のお役に立てたいと考えています。

現在会費の未納が多く、基本財産を取り崩している状態です。どうか皆様

基本財産として特別会費

一金 二万円

亦是運営費として年会費

一金 参千円

を左記宛て納入下さいますようお願い致します。

尚、同封の郵便振込票(振込手数料無し)でお振込み下さる場合は、通信欄にコード番号をご記入下さい。

郵便局

東京 〇〇二二〇一五一一一九

三井住友銀行 日本橋東支店

〇二四一七二五〇〇六九

宛名 中央学院校友会

本部住所 〒一三六〇〇七一

江東区亀戸七六五一一二

TEL 〇二一五八三六七〇二〇

新校舎建設情報

新校舎は、平成25年11月16日

完成を祝って竣工式と祝賀会が開催されました。

これまでに、建設費の一部として3億円を目標に寄付金募集をし、竣工後も継続して寄付金を募り、本校友会報に件数・金額を毎回報告してまいりました。

この度、法人が5年間の区切りを以て、継続してきた寄付金募集を取りやめることになりましたので、本欄も無くなります。長い間のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

新たな取り組み

「中央高校教育整備費」のご支援

新校舎にふさわしいより充実した教育環境実現を図ると共に運動系・文化系クラブの活動を継続的にサポートし教育強化を進めていきたいと考えております。また、情報化社会に対応するため情報通信技術を活用した教育を展開するための機器備品の整備等に多額に資金を必要としております。

つきましては、厳しい経済情勢下ではありますが、本校の財政基盤の安定化と教育の充実が図られるよう、教職員をはじめ保護者、

卒業生及び関係各位におかれましては、募金の趣旨にご理解・ご賛同頂き、格別の御支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

昨年の正月、箱根駅伝の応援の中で、あの劇的(川崎監督には申し訳ないが)なシールド権獲得から1年が経ちました。その間、熊澤前会長の訃報に接し、厳しい状況の中で寺嶋新会長が名乗りを上げました。評議員総会をはじめ、その後の差配は見事で、校友会の運営が進んでいます。

評議員会の熱心な討議・議論では、若手同窓会の運営について、各種、各様の意見が出されながら、次代を担う若い卒業生の技量が試される時代が渡来したと言えます。間もなく110周年を迎える本校の歴史を考える時、避けては通れない重要な課題でもあります。タイミング良く、90期〜99期の同窓会が本校体育館で開催され、多くの同窓生が参加する中で盛況理に進められたとの報告を聞きました。

また、中央祭は、年ごとに活気を帯びてきました。模擬店、模様し物・イベント、研究発表・展示など、とにかく元気いっぱいでした。唯一、寂しかったのは、校友会会室です。来年は皆で頑張らしましょう。

さて、新校舎建設の寄付金が続いています。5年の区切りを以て終了しました。永い間、校友会の皆様には、ご協力を頂きましたことに敬意を表します。新たに『中央高校教育整備費』の寄付事業が始まります。「器」の後「中身」と申します。皆様の暖かいご支援を賜ります事を期待します。

昌酒